

釣船寺たより

発行所 釣船寺
〒300-0641
茨城県稲敷市
浮島3583-1
029-840-7778

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、今年はいまだ例年になく汗ばむ陽気が続いております。

お盆が過ぎ、9月に入りますと、秋の彼岸がやってきます。今回のたよりは、彼岸についてのお話をいたします。

彼岸に自分と向き合う

皆さんは、「彼岸」というと、よくわからないけど、とりあえずお墓参りをする時期といった、印象をお持ちでしょうか？

お彼岸のお説教では、ご先祖様にお参りし、仏教の教えに触れるための期間、という説明がされます。今回は、「殺さない」という教えを心がけてはいかがでしょうか？

仏教の教えの中には、生きていくうえで誓いを立て守っていかうとする、いくつかの「戒」があります。その一番初めに、「殺さない」という誓いが出てきます。重

要なことです。

しかし、私たちの毎日は、これが当たり前だけでは済まされないのです。

生きる者はすべて、他の命を奪って生活しております。人間もそうです。殺さなければ、生きていけないのです。なのに、「殺さない教え」とは、いったいどういふことなのでしょうが。

殺さないで生きるとは？

食事の前に言う「いただきます」と、食事の後の「ごちそうさまでした」とは、「命をいただきます」ということです。

命をいただくことへの感謝の念を口に出して言うわけです。簡単なことですが、いつもいつもできるとは限りませんね。

誓いを立てて守っていかうとしても失敗してしまうことは誰しも起こります。お釈迦様の教えでは、日を決めて、自分の罪を告白しあ

うことが、最善の方法だとあります。これを「懺悔」といいます。懺悔することで、失敗を逸回し、再出発できるのです。



本堂で懺悔してください

大きな悔いに悩んでおられる方は、お寺にお参りに来てください。本堂で、仏様に向かって、告白をして下さい。声に出さなくとも大丈夫です。悔いを表に出すことが大事です。必ず生まれ変われます。

この秋のお彼岸が、「苦しみと」思っていたものに、実は助けられた」と思える時となりますように。

「殺さないで助けてやれる」心の余裕ができますように。大きな未練に悩んでいても、喜びと安らぎの中に日々暮らせるときが来ますように。
合掌

彼岸供養塔婆受付中

秋彼岸ご供養のお塔婆を九月いっぱい受け付けております。同封の受付表に、ご戒名または俗名、死亡年を記入し、先祖供養もされるのか否かを記入して、お申し込みください。電話、FAX、郵送、お持ちいただいたいても結構です。



毎週日曜 朝六時より
坐禅会実施中!



編集後記

八月十五日の送り火コンサートが、大盛況に幕を閉じました。また来年が、楽しみです。九月二十六日は本山参拝に行ってきます。住職

秋の彼岸に、玄米袋を配布しますので、ご先祖様のご供養のため、新米を玄米のまま袋に入れて本堂にお供えください